

廃棄物と環境

- 1 自治体名：ロシアハバロフスク地方
- 2 発表者名：ダニイル・ザハロフ (Daniil Zakharov)
アムルスク市立補足教育施設、「自然愛好家」青少年環境・生物センター
- 3 活動名：廃棄物による自然汚染の調査
- 4 活動期間：2016年夏期
- 5 活動場所：ハバロフスク地方
- 6 活動参加人数：「自然愛好家」青少年環境・生物センターの教員のもと、5人で調査を行った。
- 7 活動を始めた経緯：不法投棄による、自然への影響を調べるため
- 8 発表要旨：

ロシア連邦極東地方の中心に位置しているハバロフスク地方は海に面している。廃棄物、リサイクルという問題はハバロフスク地方では最も重要な環境課題の一つである。近年、特に固形廃棄物の量が増え続けている。

人がプラスチック製容器を使用し始めて以来、不法投棄による汚染は最も議論されている問題となった。それに関連して、アムルスク市周辺の不法投棄場所とその現状を明らかにし、自然及び住民への危険性を調べることにした。

アムルスク市の周辺を広く調査し、不法投棄場所を地図に記載した。調査中、34か所で様々な廃棄物の不法投棄場所を発見した。

主な不法投棄場所は道路沿いに位置していた。その中身は様々である。2か所の不法投棄場所では主に建築材（レンガ、コンクリート、ガラスなどの破片）があり、有害廃棄物はなかった。それぞれの廃棄物の量はおよそ15 m³であった。

さらに町の北部では、2か所の大きな不法投棄場所を発見した。建築材の他に多くの家庭ごみが混ざっていた。特に懸念されるのは、液体燃料が土に流出していたことである。それは明らかに環境への危険な影響をおよぼす。

私たちの考えでは、最も危険な不法投棄場所はアムルスク市の北部にある湖周辺にある。湖の底は車のタイヤ、金属に覆われ、水面は油膜が浮いている。湖岸は、建築材、鉄筋、コンクリート等で埋め尽くされている。最も危険性が高いのは、割れた水銀含有ランプの存在である。

市内の公園、林を調査したとき、公園を利用している住民が多くのごみ（紙、ビニール袋、使い捨て容器、ガラス等）を残していることが分かった。

市内でも、アムール川に繋がる急な斜面には、2か所の不法投棄場所が見つかった。ナイロン、ポリ袋、洗剤、塗料、農家からの廃棄物などがアムール川の環境にとって大きな脅威である。

アムルスク市の南部の調査結果、15か所の小さな不法投棄場所を見つけた。中身は主に建築材である。ほとんどの不法投棄場所は道路沿いに位置していた。中には、アムール川周辺に位置しているものもあった。降雨や雪解け水とともにごみが川に流れ込み、特に川の環境に悪い影響を及ぼす。

調査結果はみんなを不安にさせた。町周辺では美しい景色は、どんどん不法投棄場所によって、なくなっていく。その不法投棄場所の廃棄物と分解生成物は自然汚染の原因になっている。

廃棄物の不当な取り扱いの主な原因は、環境教育が欠けていること、また不法投棄によって自然と人間の健康にどんな影響が与えられるか認識が低いことであると考えられる。

私たちの調査結果はアムルスク市の政府に提供し、地元の新聞に記載され、テレビ番組にも取り上げられた。2016年の秋、私たちの活動の結果、最も危険性が高い不法投棄場所はなくなった。

皆さん！私たちは違う国に住んでいるが、自然は一つ、環境問題は共通の問題である。地球は私たちの家で、その家を守りましょう！